

「ふれあいサポートプラン」お米支援のご紹介



「ふれあいサポートプラン」は2003年に支援を開始した就学支援事業の1つです。学用品支援制度で、勉強に使用するノートやボールペン・制服を提供しています。学校建設支援を開始した当初は学校が建てば、子どもたちが学校に通えると思っていました。しかし、文房具・制服を購入することができない等の理由から、通学できない子が存在する現実を知りSAJは調査を開始しました。現在でもSAJが建設した学校へ情報提供を依頼し、近隣の就学児童がいる各家庭を調査。家の状況や経済事情などを把握してから支援対象かどうかを決定しています。



調査を進めて行くと文房具・制服の支援だけでは、学業に専念する環境が整わず食費を稼ぐために働く子がいる事実を知り、就学支援を受けている子を対象に開始した支援がお米支援です。1ヶ月に10kgのお米を支援しています。

「ふれあいサポートプラン」の支援を受けた子は2018年3月までに11,662人となりました。今日まで活動が継続できているのも、ひとえに支援者様のご協力あってのことと心より感謝申し上げます。支援を受けている子どもたちは、支援者様へ感謝の気持ちを伝えるために手紙を書いています。プロフィール・写真と一緒に支援者様の元へお送りしているので、子どもたちの成長を楽しみにされている方もいらっしゃると思います。これからもふれあいサポートプランで年間1000人の子どもたちの支援を目標に活動を続けて参ります。



トモケオ小学校
チャム・スレイモイ (小4)



トモケオ小学校
ブーン・コール (小5)

カンボジア料理のご紹介

カンボジアのデザート『ラパウ・ソクチャー』をご紹介します。ガイドブックではかぼちゃプリンと訳されて紹介されています。日本では牛乳・砂糖・卵液（鶏卵）を使用してプリンを作りますが、カンボジアのかぼちゃプリンはココナツミルクに砂糖を混ぜ、卵液はアヒルの卵を使用します。種の部分をくり抜いたところへ流し入れてかぼちゃ全体を蒸して出来上がりです。

カンボジアでは食材として使用する卵は、アヒルの卵が一般的です。プノンペンにある外国人向けスーパーでは、日本で見掛ける透明なパックに入った鶏卵も売られています。孤児院の近くの市場では鶏卵はアヒルの卵よりも値段が高いことと、羽化する前の卵として売られていることが多いです。



かぼちゃプリン①



かぼちゃプリン②



断面図

蒸しあがったかぼちゃプリンは、丸ごと食べられるので、皮の部分を5cm～7cm幅でショートケーキのようにカットして盛り付けます。蒸すのに時間が掛かるため孤児院で食べることは殆どありませんが、現地の市場やレストランで食べることができます。

公益財団法人 School Aid Japan お振込先ご案内

SAJ へのお振込みは

郵便局 00140-5-345903 または 三井住友銀行 蒲田支店（普）4353626

口座名 公益財団法人 School Aid Japan（コウエキザイダンホウジンスクールエイドジャパン）

募金箱回収ありがとうございました（順不同、敬称略）

【カンボジアフェスティバル2018】

【ワタミ㈱】

「坐和民」広島西条駅前店・新宿西口店 「和民」西新宿プラザ通り店 「三代目鳥メロ」笹塚店・米子駅前店

「エレナパスタ」大鳥居店 「わたみんな」府中並木通り店 MD 事業部 ワタミ創業祭

「ワタミ手づくり厨房」関西センター・越谷センター・丹波センター

※法人名、団体名は2018年4月現在のものです。

募金箱の回収は郵便局や銀行での振込みあるいは、SAJ 事務局への持参にて承ります。募金箱の新規設置や交換、SAJ の活動に関するご意見、ご質問はお気軽に SAJ 事務局までお問い合わせ下さい。